

2021年度会長方針

～会員企業の連携を深め、10年後の未来を創造する～

はじめに、2020年はコロナ感染症により全世界の人々が意識改革を余儀なくさせられた1年となりました。日本国内においては風水害の被害、米中貿易摩擦の影響など三重苦を強いられた企業もあります。今までの10年と、これからの10年では全てにおいてスピードが違う。企業経営も変化に対応できない経営者は凄まじい勢いで淘汰されていくことが予想されます。このような時代にこそ、私たちが学んでいる「人を大切にする経営」は、なくてはならない学びであり、重要な指標であると確信しています。

自社は誰のためにあるのか。社員とその家族を守るため、10年20年後も年輪のように成長し続けていくためには何をしないといけないのか。私は今こそ、地域（島根県全域）において強いコミュニティづくりが必要だと思っています。しまね人財塾ネクストの会員様の和を広げる活動に力を注いでまいります。

- ①会員企業の情報が共有できるツールの作成
- ②人財塾、人を大切にする経営学会の情報をすべて共有する
- ③各地区でのオンライン、オフラインでの情報交流会を年6回開催
- ④年に1度の講演会の開催
- ⑤会員企業視察
- ⑥会員増強。100名を目指す

方針にあわせ、中長期ビジョンも掲げたいと思います。皆様もご存じだとは思いますが、人を大切にする経営学会様主催の「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」も2020年で10回開催されています。島根県は47都道府県のなかでも受賞企業が多く、人口10万にあたりで過去の受賞企業数を割ったとき、1位の県なのです。灯台下暗しとはよく言ったもので、島根は人を大切にする人が多い県なのです。大きな産業はなくともソフトの部分で価値の高い企業が多いのです。人財塾の塾長でもある坂本先生のお話で、中国をはじめ諸外国の企業経営者の皆様が昨今は日本の大企業ではなく中小企業に視察に来るそうです。中小企業にしかできないニッチな技術を見ただけでなく、なぜ社員の勤続年数が長いのか？なぜ100年以上も永続している企業が多いのか？私たちにとっては当たり前のようなことに世界が注目しているのです。上記の事実を踏まえてのビジョンを掲げたいと思います。

【長期ビジョン】

2026年には世界から島根に「人を大切にする経営」をしている企業を視察にくる会社が増え、島根の企業との交流が増え、ビジネス、観光、教育が活性化している

【中期ビジョン】

2024年には北は北海道、南は沖縄まで全国の企業経営者の皆様が島根まで「人を大切にする経営」をしている会社を視察にくる